

1 学年 家庭学習プログラム (5月11日～22日)

【保護者用解説】 ※お子様との会話は「です」「ます」の敬体で行うようにしてください。

〈国 語〉

㊸「うたに あわせて あいうえお」P22～P24

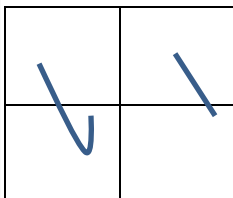
- ・口形に気を付けて「あ」「い」「う」「え」「お」の発音をします。
- ・口形に気を付けながら、「うたに あわせて あいうえお」を声に出して読みます。

㊹「ひらがなを かこう」

「えんぴつと なかよし」P14、15

まず、唱え歌を唱えながら、鉛筆の持ち方と書くときの姿勢を整えます。

ひらがなのプリントに毎日一文字ずつ取り組みます。

	<table border="1"><tr><td>1の</td><td>2の</td></tr><tr><td>へや</td><td>へや</td></tr><tr><td>3の</td><td>4の</td></tr><tr><td>へや</td><td>へや</td></tr></table>	1の	2の	へや	へや	3の	4の	へや	へや
1の	2の								
へや	へや								
3の	4の								
へや	へや								

文字を書くときに、部屋を意識して書きます。

例・・・「い」は1の部屋から斜めに下がって3の部屋に入ってはねます。

次は、2の部屋から斜めに下がって、4の部屋に少しかけて止めます。

プリントに色塗りもしますが、時間が足りなければ、休憩時間後などにやらせてください。

㊺「あさの おひさま」 P26～P27

声に出して読みます。2行ぐらいずつ、保護者の方の後に続いてお子様が音読したり、保護者の方とお子様で、読むところを分担して音読したりしてください。

(問いかけの例)

「絵のおひさまは、どんなおひさまですか。」

「おひさまになって、動きながら 読んでみましょう。」

〈算 数〉

1. なかまづくりとかず (教科書 p.12～19)

家庭学習のめあて

- ① 5はいくつといくつに分けられるかを理解します。
- ② 6～10個のものの数を数えることができますようにします。
- ③ 6～10までの数字を正しく書くことができますようにします。

㉔「5はいくつといくつ①」 とりだしげえむ p.12

●使う道具とルールを確認します。

- ①算数ブロック5個と、巾着のような袋を用意します。
 - ②算数ブロック5個全てを袋に入れます。
 - ③目をつぶったまま袋の中から1個ずつブロックを取り出して机に置きます。(置くまでは目をつぶったまま取り組みます。)
 - ④5個取り出したら目を開けて、黄色と白が上を向いているブロックの数をそれぞれ数えます。
- ☆教科書12ページ上段では、おはじきを使って取り出しゲームを行っていますが、おはじきがないため、ここでは同様のゲームを算数ブロックを使って行うこととします。ご自宅におはじきの代わりになるものがあれば、そちらを使って取り出しゲームをしてもよいです。
- ☆「0(れい)」について扱う学習はまだ先ですので、今回は「黄色(白色)が5個、白色(黄色)が0個」のようになってしまった場合は、もう一度やり直してください。必ずどちらかの色のブロックが1個以上あるようにしてください。

●袋の中から1個ずつ、全部で5個の算数ブロックを取り出して並べ、分かることを話します。

(問いかけの例)

「目をつぶったまま、袋から1個ずつ、全部で5個おはじきを取り出して並べてみましょう。」

「黄色のブロックは何個になりましたか。白色のブロックは何個になりましたか。」「ブロックを袋に戻してもう一度やってみましょう。次はどうなるでしょうか。」「他にどんな出方があるでしょうか。やってみましょう。」

(子どもの反応例)

- ・黄色のブロックが3個と白のブロックが2個になりました。
- ・黄色のブロックの方が多いです。
- ・次はさっきとは違う数になりました。黄色のブロックが1個と白色のブロックが4個です。

㉕「5はいくつといくつ②」 p.12

●教科書 p.12 の4人の取り出し方の写真を見て、おはじきの出方を言葉で説明します。

(問いかけの例)

「しょうごさんたちは、おはじきをつかって取り出しゲームをやっているようです。」

「しょうごさんたち4人は、青と赤のおはじきがそれぞれ何個になっていますか。」

(子どもの反応例)

- ・ しょうごさんは、青が3個と赤が2個です。
- ・ みささんは、青が4個、赤が1個です。
- ・ せいらは、青が2個、赤が3個です。
- ・ けんとは、青が1個、赤が4個です。

●教科書 p.1 2 中段のおはじきの並び方について考えます。

(問いかけの例)

「教科書 1 2 ページの真ん中に並べてあるおはじきは、誰のおはじきでしょうか。」

「→ (矢印) の後で並び方が変わっています。どうして並び方が変わっているのでしょうか。」

(子どもの反応例)

- ・ 青が3個で、赤が2個だからしょうごさんです。
- ・ 数えやすいように並べかえています。
- ・ 同じ色でまとめた方が分かりやすいです。

☆教科書 p.1 2 中段の、おはじきを並べ替えた図を見て、①並べ替えると「青が3個、赤が2個」であることが分かりやすくなること、②並べ替えても青と赤の個数は変わらないこと、をおさえます。

③ 「5はいくつといくつ③」 p.1 2

- 4人のおはじきの取り出し方を見ながら、教科書 p.1 2 の口々に4通りの数の組み合わせを数字で書きます。
(直接書き込んでよいです。)

(問いかけの例)

「5はいくつといくつになるか整理しましょう。」「1 2 ページの4人の結果を数字で書いてみましょう。」

④ 「5はいくつといくつ④」 p.1 3

- 4通りの数の組み合わせを声に出して言い、5の分解を確かめます。

(問いかけの例)

「5はいくつといくつに分けられるか言いましょう。」

☆「5は3と2に分けられます。」「5は4と1に分けられます。」「5は2と3に分けられます。」「5は1と4に分けられます。」の4通りを声に出して繰り返し言います。

⑤ 「5はいくつといくつ⑤」 p.1 3

- 教科書 p.1 3 上段の書き方を確認して、口々に数字を書き、5の構成の練習をします。

(問いかけの例)

「5はいくつといくつに分けられますか。○の数を数えながら口々に数を書きましょう。」

「分かっている数の分だけ○に色を塗って、もう一つの数を口々に書きましょう。」

☆5はいくつといくつに分けられるか、何も見ずにすらすらと言えるようにできるとよいですね。

⑥ 「おなじかずのなかまをさがそう」 p.1 4~1 5

- 教科書 p.1 4~1 5 の絵を見て、どんな場面か話します。

(問いかけの例)

「どんな動物たちが何をしていますか。」

(子どもの反応例)

- ・休み時間だと思います。
- ・リスとネズミがボールで遊んでいます。
- ・ネコは砂遊びをしています。
- ・ブタは一輪車となわとびに分かれています。 など

●教科書 p.14～15のイヌの絵の上に算数ブロックを置き、そのブロックを他の絵に移しながら、イヌの数と同じ数の動物やものを探します。

(問いかけの例)

「イヌさんと同じ数の仲間がありますか。ブロックを使って、イヌさんの数と同じ仲間を見つけてみましょう。」

(子どもの反応例)

- ・バケツは同じ数です。
- ・バケツのほかにはありません。

●イヌと同じ数の数図カードを選びます。

(問いかけの例)

「イヌさんの数と同じカードはどれでしょうか。イヌさんはいくつでしょうか。」

☆イヌさんの数は、このカード(6の数図カード)と同じです。この数は「ろく」といい、「6」と書くことをおさえます。(数図カード→数詞「ろく」→数字「6」の順でおさえるとよいです。)

(子どもの反応例)

- ・イヌさんと同じ数のカードはこれ(6の数図カード)です。
- ・イヌさんの数は6(ろく)です。

●その他の同じ数の仲間(「7(しち)」～「10(じゅう)」)を探します。(ブロックを使ってよいです。)

(問いかけの例)

「ほかのいろいろな動物の数と同じ数の仲間も探してみましょう。」

「その動物の数と同じ数のカード(数図カード、数字カード)はどれですか。」 など

☆同じ数のものの組み合わせをたくさん挙げられるといいですね。

(子どもの反応例)

- ・ネコさんと一輪車の数は同じです
- ・リスさんと泥だんごの数は同じです。
- ・ネズミさんと木の数は同じです。 など

③⑧「かずをかこう①」 p.16

●6～10の数図カードの○に色を塗ります。教科書に直接書き込んでよいです。

(問いかけの例)

「イヌさんの数はいくつでしょうか。○に色を塗りましょう。」

「○はどこから塗るのでしょうか。5より大きい数なので、上は5個全部塗りますね。」

☆5より大きい数なので、数図カードの上段は全て塗られていることを確認しましょう。

③⑨「かずをかこう②」 p.17

●6～10の数字の書き方を練習します。教科書に直接書き込んでよいです。

(問いかけの例)

「16ページの動物の絵や、算数ブロック、数図カードを見ながら数字を練習しましょう。」

☆10までの数字を丁寧に正しい書き順で書きましょう。

④⑩「かぞえよう」 p.18

●6～10の数について、絵を見て数を数え、その数を数字で書きます。

(問いかけの例)

「カエルは何匹いますか。」「カエルの数を口に数字で書きましょう。」

☆数字は正しく丁寧に書きましょう。

④⑪「かずあてげえむをしよう」 p.19

●教科書 p.19 上段の絵のように、具体物(絵やもの)、算数ブロック、カード、数詞、数字を互いに対応させながら数の表し方を考えます。ゲーム感覚で繰り返し練習します。

(数当てゲームのやり方の例)

☆数字カード→算数ブロックと数詞

「この数字と同じ数だけ算数ブロックを出してみましょう。この数字(算数ブロックの数)はいくつでしょうか。」
など

☆数図カード→数字カードと数詞

「この数図カードと同じ数の数字カードはどれでしょうか。この数字はいくつでしょうか。」

☆手を叩いた回数(音)→算数ブロック、数図カード、数字カード、数詞

「今から手を叩きます。手を叩いた数と同じ数だけ算数ブロックをならべてみましょう。」

「(同様に) 同じ数の数図カードはどれでしょうか。」 など

④⑫「せんでむすぼう」 p.19

●教科書 p.19 下段の問題に取り組みます。同じ数を表しているものを線で結びます。
(教科書に直接書き込んでよいです。)

☆定規を使って線が引けるとよいですね。

④③ 〈音 楽〉

教科書の中から、知っている歌を見つけて歌います。手拍子をしたり、体を動かしたりしながら、歌ってみましょう。

④④ 〈図 工〉

お絵かき、粘土、折り紙、工作などに取り組みます。教科書P12,13「ちょきちよき かざり」も参考にしてください。

④⑤ 〈体 育〉

体操、なわとび、ダンスなど、体を動かしましょう。

〈道 徳〉

④⑥ 「ようこそ いちねんせい」 P6～11

学校で楽しみなことについて話します。
はじめにP6とP11だけを見て、その後、開いてP7～P10を見ます。

〈問いかけの例〉

P6とP11を見て「学校生活で楽しみなことは何ですか。」
P7～P10を見て、「学校生活では どんな楽しいことがありますか。」
「どうすれば、自分もみんなも楽しくなるでしょうか。」

④⑦ 「あいさつ」 P14～15

絵を見てどんなあいさつがあるかを考え、おうちの人に笑顔であいさつをします。

〈問いかけの例〉

「絵を見ながら挨拶をしてみましよう。」
「挨拶をするときはどんなことが大切ですか。」
→明るく挨拶をすることです。にこにこ笑顔で挨拶することです。気持ちよく挨拶をすることです。
「笑顔でおうちの人に挨拶をしてみましよう。」